

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成24年5月31日(2012.5.31)

【公開番号】特開2009-287554(P2009-287554A)

【公開日】平成21年12月10日(2009.12.10)

【年通号数】公開・登録公報2009-049

【出願番号】特願2009-121840(P2009-121840)

【国際特許分類】

F 0 2 C	9/54	(2006.01)
F 0 2 C	9/00	(2006.01)
F 0 2 C	9/16	(2006.01)
F 0 2 C	9/26	(2006.01)
F 0 2 C	9/40	(2006.01)
F 0 2 C	7/057	(2006.01)
F 0 2 C	7/22	(2006.01)
F 0 4 D	27/00	(2006.01)
F 0 2 C	7/042	(2006.01)

【F I】

F 0 2 C	9/54	
F 0 2 C	9/00	A
F 0 2 C	9/16	Z
F 0 2 C	9/26	
F 0 2 C	9/40	B
F 0 2 C	7/057	
F 0 2 C	7/22	D
F 0 4 D	27/00	1 0 1 F
F 0 2 C	7/042	

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月9日(2012.4.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

圧縮機(2)と燃焼器(4)とタービン(6)とを有し、圧縮機終圧(120、118)が制御量として利用される、ガスタービン(1)の運転方法であって、

圧縮機終圧(120、118)の最大変化速度が予め設定されていることを特徴とするガスタービン(1)の運転方法。

【請求項2】

圧縮機終圧(120、118)の設定値が予め与えられていることを特徴とする請求項1に記載の運転方法。

【請求項3】

ガスタービン(1)の圧縮機(2)が多数の可調整前置静翼(3)を有し、圧縮機終圧(120、118)がその前置静翼(3)の位置変化によって調整されることを特徴とする請求項1又は2に記載の方法。

【請求項4】

ガスタービン（1）の排ガス温度が、燃焼器（4）のバーナ（10）への燃料供給の変化によって調整されることを特徴とする請求項1ないし3のいずれか1つに記載の方法。

【請求項5】

ガスタービン（1）の圧縮機（2）の出口で空気が取り出されることを特徴とする請求項1ないし4のいずれか1つに記載の方法。

【請求項6】

取り出された空気が空気分解装置に供給され、この空気分解装置で得られた酸素が合成ガスを発生するために利用され、その合成ガスがガスタービン用の高温ガスを発生するために燃焼されることを特徴とする請求項5に記載の方法。

【請求項7】

圧縮機（2）と燃焼器（4）とタービン（6）と圧縮機終圧センサが付設された制御装置とを有するガスタービン（1）であって、

その制御装置が、請求項1ないし6のいずれか1つに記載の方法を実施するために設計されていることを特徴とするガスタービン。

【請求項8】

請求項7に記載のガスタービン（1）を備えていることを特徴とするガス・蒸気複合タービン設備。